

2024 年 10 月

会員各位

公益社団法人日本技術士会 中国本部 山口県支部長 河内 義文

公益社団法人日本技術士会 中国本部 山口県支部主催

第3回「自然災害伝承碑」(山口・防府豪雨災害から15年)探訪

伝承碑探訪・講演【CPDプログラム】

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、(公社)日本技術士会 中国本部 山口県支部は、防災委員会の活動として、「なぜ、そこに自然災害伝承碑があるのか」をテーマに、各地の伝承碑を訪れ、過去の自然災害を知ること、地形の特徴、土地利用の変化などの知見を深め、防災意識の高揚、地域防災力の向上を図る趣旨から、第1回佐波川流域(山口市、防府市)、第2回安政南海地震(周防大島町)に引き続き、今回は山口・防府豪雨災害(平成21(2009)年7月21日)から15年目を迎えるにあたり、防府市小野地区を探訪します。

また、防府市小野公民館において、講演を2件「山口・防府豪雨災害の定点観察報告」及び、「土砂災害は繰り返す―地盤に残る土石流の痕跡を探る―」を行います。

地域防災を考える絶好の機会であり、技術士の皆様方にご参加頂きますよう、お願い申し上げます。

なお、講演には、地域の皆様や中学生に参加していただきます。

申込みに当たっては、メール送信可能な方は、事務局事務の省力化のため、下記のURLより申込をお願いします。(申込み期限:2024年11月29日(金)まで)

敬具

■申込フォーム:

<https://docs.google.com/forms/d/1emCI9QC5w4ogbBlwWgwVQasWSptBPThmLaM-Cf9cxyI/edit>

記

1. 日時:令和6年12月14日(土)10:00~16:00

2. 場所:防府市小野公民館

3. 内容

午前の部:豪雨災害箇所、自然災害伝承碑探訪、整備状況:技術士会(非会員可)

午後の部:豪雨災害の定点観測、講演:技術士会(非会員可)、小野地区の皆様、中学生

【スケジュール 第3回「自然災害伝承碑」(山口・防府豪雨災害から15年)探訪】

10:00~12:00 ■自然災害伝承碑探訪 15年前の小野地区豪雨災害箇所、伝承碑等

12:00~13:00 《昼食・休憩》

13:00~14:00 ■山口・防府豪雨災害の定点観察報告(小野中学校生徒・技術士)

14:00~14:20 《休憩》

14:20~15:50 ■講演 「土砂災害は繰り返す―地盤に残る土石流の痕跡を探る―」

講師:山口大学大学院創成科学研究科 鈴木 素之教授

■閉会挨拶

15:50~16:00

4. 定員、参加費

- (1) 会場定員 50 名
- (2) 参加費：無料（別途弁当代 1,000 円）

◇ その他留意事項

- (1) スケジュール時間は大まかな目安の時間となります。実際には、これらの時間を前後することも想定されます。予めご了承下さい。
- (2) 弁当を注文します。昼食代は各自でご負担ください(1,000 円程度)。
- (3) 午前の探訪において、乗用車を提供された方には、2,000 円をお支払いたします。
- (4) 今回、CPD 証明書を発行します。必要な方はお申し出下さい。
- (5) 会場、防府市小野公民館：〒747-0106 防府市大字奈美 709 番地（下図参照）

☎0835-36-0110/0835-36-0830



【参考】

自然災害伝承碑（しぜんさいがいでんしょうひ）は、地震、津波、洪水、噴火といった大規模な自然災害の状況や教訓を後世に伝え残すために作られた災害碑、慰霊碑、記念碑等の碑やモニュメントである。国土地理院の最新のデータによると、2023 年 10 月 26 日現在、2037 基が登録されている。山口県内では 31 か所（下関市：1 か所、宇部市：2 か所、山口市：7 か所、萩市：4 か所、防府市：7 か所、岩国市：3 か所、山陽小野田市：1 か所、周防大島町：4 か所、阿武町：2 か所）が登録されています。